

第1号議案

2024 年度事業報告

1 企画調整活動

(1) 第32回総会の開催

日時：2024年6月19日（水） 13:00～

場所：和歌山県民文化会館 特別会議室B（和歌山市小松原通1丁目1）

※オンライン配信を併用

議題：2023年度事業報告・決算報告、2024年度事業計画案・予算案

(2) 幹事会の開催（場所はいずれも市民の力わかやま事務所とオンライン会議併用、時間：16:30～）

①第1回幹事会（日時：2024年5月9日（木））

議題：総会議案等の審議、講演会、その他

②第2回幹事会（日時：2024年11月28日（木））

議題：講演会報告、部会活動、情報化フォーラム、データ連携基盤、その他

(3) 情報交流会の開催

県内各市町村の意見を聴く機会として以下の市町を訪問し情報交流会を開催した。

日時：2024年4月23日（火）

場所：御坊市、みなべ町、田辺市

日時：2024年4月24日（水）

場所：串本町、那智勝浦町、新宮市

2 普及啓発活動

(1) WIDA 講演会 2024 の開催

「災害情報共有基盤の構築に向けた最新動向の紹介」

日時：2024年6月19日（水） 14:00～16:30

場所：和歌山県民文化会館 特別会議室B（和歌山市小松原通1丁目1）

※オンライン配信を併用

内容：

① 基調講演（14:05～15:25）

「防災DXの動向と今後の展開 ～令和6年能登半島地震の対応をふまえて～」

講師：臼田裕一郎氏（国立研究開発法人 防災科学技術研究所
総合防災情報センターセンター長）

（休憩 5分）

② トークセッション（15:30～16:25）

パネリスト：臼田裕一郎氏

パネリスト：越本 進男 氏（みなべ町総務課消防防災室 室長
和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター教育
研究アドバイザー）

コーディネータ：佐藤 周氏（和歌山県情報化推進協議会 会長）

参加者数：57名（会場 26名、オンライン31名）

※終了後、収録した映像をもとに希望者及び会員向けに動画アーカイブ配信を行った。

和歌山県情報化推進協議会 (WIDA) 講演会 2024

災害情報共有基盤の構築に向けた最新動向の紹介

令和6年3月の能登半島地震により、和歌山県でも災害時のインフラへの被害と復旧に向けた復旧活動の重要性が改めて認識されることになりました。県は国や県外などとの連携強化を図ることで、復旧活動の円滑化を図ります。また、多岐にわたる関係機関の連携強化を図ります。この講演では防災DXの動向と今後の展開について、令和6年能登半島地震の対応をふまえて、和歌山県での取り組みを紹介します。

■日時 2024年6月19日（水）14:00～16:30
一般受付開始 13:30～13:45（13:45～13:55は観覧券を提示していただきます。一般の方は入場できません。）

■会場 和歌山県民文化会館 特別会議室B（和歌山市小松原通1丁目1）

■開催方法 会場、オンライン配信（Zoomウェビナー）

■観覧券 100名（事前のお申し込みが必要です） **入場無料**

■講演者
基調講演
「防災DXの動向と今後の展開
～令和6年能登半島地震の
対応をふまえて～」
講師：（基調） 臼田 裕一郎 氏
（国立研究開発法人 防災科学技術研究所
総合防災情報センターセンター長）

トークセッション
パネリスト：（基調） 臼田 裕一郎 氏
（みなべ町総務課消防防災室 室長）
和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター教育
研究アドバイザー）
コーディネータ：佐藤 周 氏
（和歌山県情報化推進協議会 会長）

主催 和歌山県情報化推進協議会 (WIDA) 後援 和歌山県、近畿総合通信
事務局
和歌山県民文化会館（和歌山市小松原通1丁目1） 和歌山県民文化会館
TEL: 073-422-2200 E-mail: info@wida.jp

(2) わかやま地域情報化フォーラム 2025 の開催

テーマ：「e スポーツがもたらす社会的意義とは ～活用事例と今後の可能性について語る～」

日時：2025 年 2 月 17 日（月）13:30～15:30

場所：和歌山県民文化会館 5 階 大会議室
（和歌山市小松原通 1 丁目 1）

※オンライン配信を併用

主催：和歌山県情報化推進協議会

後援：和歌山県、和歌山県教育委員会

内容：

① 基調講演

「e スポーツの可能性について」

講師：倉林亜希子氏（一般社団法人群馬県 e スポーツ連合
（gespo）業務執行理事 兼 事務局長 株式会社 LANNER 代表取締役）

② 県内事例紹介

「和歌山での e スポーツ活動について」

講師：谷本翔太氏（一般社団法人和歌山 e スポーツ連合 会長）

③ パネルディスカッション

パネリスト：倉林亜希子氏

パネリスト：谷本翔太氏

パネリスト：西川充伸氏（星林高等学校 教諭、パソコン部顧問）

（※e スポーツわかやま推進プロジェクトモデル校）

パネリスト：宮本智章氏（和歌山県地域振興部地域政策局デジタル社会推進課 課長）

コーディネータ：山崎和典氏（和歌山県情報化推進協議会 特別会員）

参加者数：66 名（会場 41、オンライン 21、アーカイブ配信 4）

※終了後、収録した映像をもとに希望者及び会員向けに動画アーカイブ配信を行った。



(3) その他普及活動

・データ連携基盤共同利用ビジョン策定関係(市町村 DX 担当者会議) への協力

全国的に官民間問わず、デジタル人材が不足する中、着実に DX を推進するためには、個別の市町村の組織内だけで DX 推進体制を構築するのではなく、都道府県と市町村の連携による DX 推進体制を構築することが重要である。国の方針として 2024 年度中に全都道府県で地域 DX にかかる推進体制を構築すること等が盛り込まれたことを受けて、県内のデータ連携基盤の整備状況把握とその共同利用ビジョンの策定をするための会議が年度内に 3 回開催された。（和歌山県デジタル社会推進課主催、いずれもオンライン）

第 1 回 2024 年 9 月 25 日（水）

第 2 回 2024 年 11 月 7 日（木）

第 3 回 2025 年 1 月 27 日（月）

また予定されていた第 4 回での「データ連携基盤共同利用ビジョンの取りまとめ」は、メール等で行われた。

WIDA として、上記会議に出席するなどして、ビジョン策定に協力した。

(4) 後援等

・「レジリエントクラウド共同講座 公開講義イベント」の後援

日時：2025 年 2 月 5 日（水）13:30 開演

場所：和歌山大学松下会館 2F セミナールーム

主催：クオリティソフト株式会社、国立大学法人和歌山大学

3 調査研究活動

- (1) ICT 利活用普及部会：ICT 利活用の最新事例紹介や意見交換等を行う。

部会長：満田 成紀（和歌山大学戦略情報室教授）

- 1) 交流イベント「NexGen Synergy ～和歌山大学の学生団体と企業・自治体の交流イベント～」の開催

和歌山大学におけるデジタル技術系の学生団体と県内企業・自治体との交流により、地域産業発展の足がかりとすることを目的として、交流イベントを実施した。学生と企業・自治体が互いに刺激合い、地域産業の発展に貢献する、新たなイノベーションが生まれる場を提供した。

日時：2024年9月24日（火）13:30～16:00

場所：和歌山大学 松下会館（和歌山市西高松 1-7-20）

からスタジオ配信

主催：和歌山県情報化推進協議会

後援：和歌山大学、和歌山県

内容：

- ① 学生団体からの発表（5 団体）
- ② 交流会

学生団体と企業・自治体で、学生団体の発表内容について質疑や意見交換

参加者数：学生 5 団体（25 名）、企業 12 社（14 名）



- 2) 以下の2事業に協賛した。

- a) NASA Space Apps Challenge Kushimoto2024

米国のNASAが毎年主催する世界同時ハッカソン Space Apps Challenge で、NASA が公開しているオープンデータを使用したアプリケーションの開発を競い合った。

日時：2024年10月5日（土）～6日（日）

場所：和歌山県立潮岬青少年の家（和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 669）

主催：NASA Space Apps Challenge KUSHIMOTO 実行委員会

- b) 和歌山データサイエンスハッカソン 2024

全国の大学・高専等の学生チームが合宿形式で、POS データを使用して、データ分析を通じた課題発見・課題解決の能力を競い合い、プレゼンテーションによる審査により優秀チームを選奨した。

日時：2024年12月6日（金）～8日（日）

場所：クオリティソフト株式会社 INNOVATION SPRINGS（西牟婁郡白浜町中 1701-3）

主催：和歌山大学

- (2) 教育 ICT 研究部会：教育分野の ICT 利活用の研究等を行う。

部会長：伊藤 宏（和歌山信愛女子短期大学副学長）

- 1) 防災に挑む「学びの探究アドベンチャー」の開催

探究学習に当たって、情報の収集と分析は欠かせない。阪神淡路大震災から 30 年を迎えた兵庫県と、南海トラフ巨大地震に備える和歌山県。神戸市に本社を置く神戸新聞社と田辺市の紀伊民

報が連携、データを手がかりに震災の真相を掘り下げる神戸新聞社の取り組みを紹介しながら、問いの立て方を学ぶワークショップを神戸と和歌山をオンラインで結んで開催した。

日時：2024年12月26日（木）13:30～16:30

場所：和歌山県立串本古座高校（東牟婁郡串本町串本1522）

神戸新聞神戸本社14階（神戸市中央区東川崎町1-5-7）

主催：和歌山県情報化推進協議会、株式会社 紀伊民報、omochi、神戸新聞社

後援：和歌山県教育委員会、神戸市、こどもの創造的学び推進実行委員会

協力：株式会社 ベネッセコーポレーション

内容：

① 講演「災害は記録と表現者を必要とする」

講師：三好正文氏（神戸新聞NIE・NIB推進部シニアアドバイザー）

② ワorkshop「違いを楽しむ 問いづくりを楽しむ」

講師：前田 健志氏（楽しい学校コンサルタント Second 代表）

参加者数：20名（和歌山側：県立串本古座高校、田辺高校、神島高校の生徒＋教員、保護者）



(3) 防災研究部会：災害発生時に必要となる情報共有・広報活動について、情報通信・放送など多様な情報基盤を活用するための研究等を行い、また、臨時災害放送局サポーターの募集・登録や、災害時に被災者を支える災害情報・生活情報を速やかに提供できるシステム構築を目指す活動を継続した。

部会長：佐藤 周（和歌山大学名誉教授）

1) 臨時災害放送局設置運営訓練の実施

日時：2024年11月10日（日）9:00～12:00（本放送は9:30～11:30）

場所：紀の川市民体育館駐車場（紀の川市花野604-2）

運営：WIDA 防災研究部会、近畿総合通信局、FM和歌山、NHK和歌山

FM放送：周波数77.2 MHz（出力10W）

インターネット放送：<https://fmplapla.com/rinsaikinki1v>

機材の設置：訓練当日、近畿総合通信局が提供したFM放送機材を設置

ゲスト出演者：紀の川市危機管理部、近畿総合通信局放送部、紀の川市社会福祉協議会、紀の川市消防団女性分団、紀の川市防災リーダー会

聴取者アンケート：放送を聞いた人に対して、アンケートフォームから回答を収集

2) 可聴域調査への協力

日時：2025年2月18日（火）～2月19日（水）

場所：紀の川市役所 屋上（紀の川市西大井338）

実施主体：近畿総合通信局

測定箇所：紀の川市内 指定避難所各所

3) 「臨時災害放送局サポーター」の募集・登録

内容：大規模災害に備え、被災地で臨時災害放送局の開設・運営にあたるボランティアの「臨時災害放送局サポーター」募集を2016年に開始、現在も募集継続中。

開始時期：2016年4月21日（木）～（継続中）

2025年3月末現在のサポーター人数：

サポーター登録者数 22人（うち県内登録者数11人）

内訳：無線従事者 16人（第一級陸上無線技術士13人、第二級陸上無線技術士3人）

情報ボランティア 6人

4) 他団体との連携

- ・和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センターと共同し、和歌山県社会福祉協議会と情報交流を行った他、和歌山大学でも講義を行い、情報ボランティア育成活動の重要性を周知し協力を求めた。
- ・和歌山県社会福祉協議会等が行った広域・同時多発災害対応訓練に参加した。
- ・和歌山県災害ボランティアセンターに和歌山県情報化推進協議会として加入している。
- ・新宮市の民間組織が設立を準備しているコミュニティ放送局「FM 新宮」にヒアリングを行い、災害時の情報共有について情報交換を行った。

4 情報提供活動

- (1) 協議会ウェブサイト (<https://wida.jp/>) の管理・運営。
協議会の活動の告知、報告ページの作成等を随時行った。

- (2) メールマガジンの配信

希望する会員あてに国・県の施策やイベント情報を月1回程度配信。その他、会員からの情報提供内容を随時配信。

- (3) SNS を利用した広報および会員の交流促進

Facebook で協議会ページを作成。広報、およびイベントの参加申し込み受付などに利用。
<https://www.facebook.com/wida.jp>

- (4) 協議会の活動を動画配信（会員限定）

- ・わかやま地域情報化フォーラム等で撮影・編集した動画などを保存・配信



5 その他

- (1) 和歌山県警察本部（サイバー犯罪対策課）の広報活動に協力

サイバー犯罪等に関する情報提供内容を随時メールマガジンリストでの告知または WIDA ウェブサイトに掲載し、広報活動に協力した。

- (2) 近畿情報通信協議会、近畿情報通信関係団体連携促進会議への協力

近畿情報通信関係団体連携促進会議に参加：2024 年 9 月 19 日（木）

以上